みたか議会だより

第241号　平成15年8月3日

発行・三鷹市議会　☎0422(44)0249
〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号
三鷹市議会ホームページ
http://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp

平成15年第2回定例会

6月9日～30日

	審議件数	可決・採択	否決・不採択	継続
議案	14	14	0	0
請願	6	1	2	3
意見書・決議	11	7	4	0

主な内容

2・3面……代表質疑・一般質問
4　面……一般質問、請願、陳情、意見書・決議

平成15年度補正予算を可決

―― 補正予算審査特別委員会を設置し、審査 ――

三鷹市議会は、統一地方選挙後の初の定例会となる第2回定例会を、6月9日から30日までの22日間にわたって開催した。この定例会では、初日と19人の議員による市政に関する一般質問ののち、議案14件、意見書7件を可決し、会期を終えた。

本定例会では、「骨格予算」として編成された当初予算を、新市長が通年の予算とするため、一般会計ほか3件の補正予算案の提案があった。この補正予算案については、4会派による代表質疑が行われるとともに、補正予算審査特別委員会が設置され、審査の結果、本会議で原案が可決された。

また、最終日の30日には、河村孝、津端修両氏の助役選任と、栗原友治氏の収入役選任が、それぞれ同意された。

さらに、本定例会では、急施案件として「税源移譲を基本とする三位一体改革に関する意見書」が提案され、満場一致で可決となった。

各会計予算の議決結果

▽一般会計
賛成多数で原案可決

▽特別会計
下水道事業
満場一致で原案可決
再開発事業
賛成多数で原案可決
介護保険事業
賛成多数で原案可決

特別委員会で審査

平成15年度の一般会計ほか3件の各会計補正予算案は、6月13日に補正予算審査特別委員会に付託され、延べ5日間の審査を経て、30日の本会議で委員長の報告どおり、それぞれ原案が可決された。

三鷹の産業振興の拠点「三鷹産業プラザ」がこのほどグランドオープンした

【補正の概要】

当初予算で骨格予算とされた一般会計、下水道事業特別会計及び再開発事業特別会計について、清原新市長の方針に基づき、新規・拡充事業などの政策的経費や投資的事業経費を追加し、通常の年間予算とするものである。

また、介護保険事業特別会計について、最終確定した第二期介護保険事業計画に基づくものに変更するものである。

付帯意見

〈一般会計〉

1　市債については、後年度負担の軽減と財政の健全性維持を図るため、より積極的に低金利債への借換えに努めること。

2　住民基本台帳ネットワークシステムの第2次稼働にあたっては、セキュリティー対策に万全を期すること。

3　情報セキュリティポリシーの策定にあたっては、国際標準の認証取得を通じて、システムやマニュアルの確立を図るほか、外部接続に対するより厳しいチェックや市独自の職員研修を充実させること。

4　電子入札の導入にあたっては、適切な競争原理が働くよう、より公正・公開性を高めるシステムの構築を図ること。

5　市民協働センター（仮称）は、市民の政策研究活動等の拠点となるものであるが、その運営にあたっては幅広い市民の声を反映したものとすること。

6　次世代育成支援行動計画の策定にあたっては、幅広い市民等の意見を求めること。

7　公設民営方式による保育園については、事業者選考に係るプロポーザルとその運営について市の情報公開を徹底するとともに、保育の質を確保すること。

8　高齢者就業支援事業の実施にあたっては、情報と人と仕事が出会える効果的な内容とすること。

9　産業振興については、三鷹産業プラザの完成を契機に、一層の都市型産業の育成が図られるように努めること。また、商業振興については、特に三鷹の特性をいかした取組みを積極的に行うこと。

10　バリアフリーのまちづくりについては、今後とも調査を進めるとともに、各地域からの提言を踏まえ、緊急性を勘案しながら、順次、整備を促進すること。

11　川上郷自然の村については、これまでの経緯を踏まえ、根本的にそのあり方について十分な検討を行い、方向性を打ち出すこと。

補正予算審査特別委員

◎久保田輝男（公明党）
○加藤　久平（政新クラブ）
緒方　一郎（公明党）
後藤　貴光（政新クラブ）
杉本　英騎（市民の党）
嶋﨑　英治（民主市民連合）
谷口　敏也（民主市民連合）
石井　良司（政新クラブ）
大城　美幸（日本共産党）
◎委員長　○副委員長

負担附き贈与を可決

今定例会に、市長から「負担附きの贈与を受けることについて」の提案があり、厚生委員会に付託、審査のうえ、30日の本会議で満場一致により可決された。

内容は、東京都の旧三鷹労政事務所及び旧三鷹労政会館の土地建物の一部について、勤労者等の文化教養の向上及び福祉増進のための事業並びに高齢者への無料職業紹介事業等に活用することを前提として、都から無償で贈与を受けるものである。対象は、当該土地建物のうち土地1千129・52平方㍍、建物919・27平方㍍である。

また、贈与に際しては、20年間にわたり、都の用途の指定に従って事業を実施することなど、市には3つの条件がつけられている。

なお、この土地建物の残りの部分については、市が別途有償で譲渡を受け、建物全体を公の施設として位置づけ、市民のさまざまなボランティアや市民活動を総合的に支援する拠点施設として、活用が図られる。

助役に　河村　孝　氏
津端　修　氏
収入役に　栗原　友治　氏

今定例会最終日の30日に、市長から助役、収入役の選任に関する3件の議案の提案があり、本会議でそれぞれ同意された。

内田聖二、持田明両助役の後任として新たに河村孝、津端修の両氏の助役選任と、栗原友治収入役の再任について同意が求められたもの。3氏の略歴は次のとおり。

河村孝助役（49歳）
【略歴】昭和52年三鷹市就職。企画部企画調整室長、企画部次長などを歴任。平成11年に収入役に就任し、現在に至る。

津端修助役（53歳）
【略歴】昭和47年三鷹市就職。財政課長補佐、総務部職員課長などを経て、平成9年に総務部長に就任し、現在に至る。

栗原友治収入役（66歳）
【略歴】昭和31年三鷹市就職。教育委員会体育課長、都市整備部長などを歴任。平成12年に企画部長に就任し、現在に至る。

平成15年度補正予算のあらまし

□一般会計補正予算（第1号）

補正額	23億9,047万7千円
予算総額	546億 245万2千円
※実質補正規模	36億7,977万6千円

（補正額＋予備費からの組替分　12億8,929万9千円）

【主な施策】

1　バリアフリーのまちづくり
バリアフリーのまちづくり基本構想の策定／バリアフリー化緊急改善事業／下連雀緑道整備事業など

2　子ども・子育て支援施策
牟礼保育園の開設準備／次世代育成支援行動計画の策定／はじめての絵本事業／子育てワークショップ事業／第一小学校スーパーリニューアル事業など

3　協働のまちづくり
市民協働センター（仮称）の整備／自治基本条例（仮称）の調査・研究／市民緑化支援制度の拡充など

4　ＩＴの活用
「あすのまち・三鷹」推進協議会の活動拡充／情報セキュリティポリシーの策定など

5　その他の施策
土地利用総合計画の改定／農業公園（仮称）の整備／タウンミーティングの実施／メールマガジンの発行など

□特別会計補正予算（第1号）

会計別	補正額（千円）	予算総額（千円）
下水道事業	284,820	3,282,896
再開発事業	47,600	1,448,591
介護保険事業	358,606	6,625,136

手数料条例の改正を可決

今定例会に、市長から「三鷹市手数料条例の一部を改正する条例」の提案があり、総務委員会に付託、審査のうえ、30日の本会議で賛成多数により可決された。

議案の主な内容は、住民基本台帳ネットワークシステムの第2次サービスとして、本年8月25日から提供されることとなる「住民票の写しの広域交付」及び「住民基本台帳カードの交付」に係る手数料を新たに定めるものである。

この手数料については、「住民票の写しの広域交付」は1通につき200円、また「住民基本台帳カードの交付」は1件500円である。

条例の施行期日は公布日であるが、手数料に係る改正規定については平成15年8月25日である。

その他の可決議案

▽三鷹市議会委員会条例の一部改正（議員提出議案、市の組織改正に伴う常任委員会の所管事項に関する規定の整備）
▽市道の路線の認定及び変更（1路線の認定及び1路線の変更）
▽三鷹市環境基金条例の制定（厚生委員会付託、市民や非営利団体、事業者等が高環境の創出を目指して行う、先導的な活動の支援を目的とした三鷹市環境基金の設置）
▽三鷹市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正（退職報償金の支給額の引上げ）
▽三鷹市用品調達基金条例の廃止（用品調達基金の廃止）
▽三鷹市立牟礼保育園建設工事請負契約の締結（総務委員会付託、牟礼保育園の平成16年度リニューアルオープンに向けた工事、契約金額1億5千907万5千円、丸栄・大竹建設共同企業体）

表彰

次の議員が議員在職20年以上として、6月4日に関東市議会議長会、19日には全国市議会議長会から、それぞれ表彰された。

また、市議会でも、定例会最終日の30日の本会議で表彰した。

岩田　康男　議員
野中かず江（前議員）

R100 古紙配合100%再生　◇「みたか議会だより」は再生紙を使用しています。資源を大切に、ごみ減量・リサイクルにご協力ください